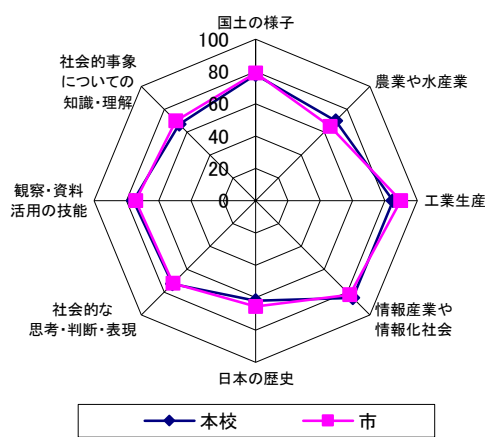


宇都宮市立城山東小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の様子	78.0	79.1	74.9
	農業や水産業	70.0	65.1	63.7
	工業生産	85.0	89.7	86.2
	情報産業や情報化社会	85.0	82.2	73.1
	日本の歴史	61.9	65.4	65.6
観点別	社会的な思考・判断・表現	72.8	72.2	69.0
	観察・資料活用技能	75.7	74.3	69.2
	社会的な事象についての知識・理解	66.8	69.9	69.3

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	○わたしたちの生活と環境についての問題では、棒グラフの資料の読み取りで正答率が9割であり、市の平均を上回った。 ●日本の周辺の海洋の名前や国の名称と位置についての設問では、市の正答率を下回った。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・周辺の海洋名や主な国の名称と位置について、世界地図や日本地図などの掲示資料や地球儀などを活用し、児童自身が日常的に自ら確認できる環境を整備する。また、日本とつながりのある諸外国との関係について学ぶ際にも、その都度場所を確認するなど、関連づけて学習できるよう工夫していく。
農業や水産業	○領域の正答率は、市の平均を上回っている。特に、日本の米作りの問題点や食料自給率と輸入額との関係について、複数の資料を読み取り答える設問では、いずれも高い正答率であり、資料を読み取る力が身に付いているといえる。 ●国産と外国産の農作物の値段の違いについて、複数の資料を読み取ったことを基に考え、指定された語句を使って表現する設問では、正答率がと低かった。資料を読み取る力は付いてきているが、読み取ったことを基に考え、文章で表現する力は十分身に付いていないといえる。	・資料の読み取りに関しては、読み取ったことを基に考えたり、それについての意見を文章で表現したりする活動を多く取り入れていくようにする。
工業生産	●工業の種類を分類・整理する設問では、正答率は8割であるが、市の正答率を下回った。化学工業と機械工業の分類で誤答が見られた。	・機械工業という分野に入る日用品を把握し切れていない実態があるため、教科書に提示されている資料をもとにして再度機械工業で製造された製品を認識できるようにする。また、機械、化学、金属、繊維などそれぞれの分野でどのようなものが作られているのか、再度指導を行う。
情報産業や情報化社会	○医療での情報ネットワークの利便性について、資料を読み取り考える設問では、正答率が9割であり、市の平均を大きく上回っている。	・引き続き、多様なマスメディアの特徴や、それによって便利になったことや活用する上での問題点など、自分の生活と結び付けて考えられるように指導を行う。
日本の歴史	○縄文時代から室町時代までの、資料を読み取り答える設問については、正答率が高く、市の平均を上回っている。 ●安土桃山時代以降、大正時代までの問題では、ほとんどの設問で市の正答率を下回っている。人物や出来事、文化などを結び付けて理解することが不十分であったといえる。	・今後も、日頃の授業の中でも多くの資料を活用し、読み取る力を身に付けさせる。 ・歴史の領域では個人差が大きく見られることから、映像資料を用いたり、歴史に関する書籍の紹介をしたりするなど、歴史に関心をもてるような環境づくりに取り組み、興味をもって学習に臨めるように配慮する。